

LGBTフレンドリー指標制度の概要

■ 指標内容

1 基本方針に関すること。

企業の社内規定等にLGBTへの差別やハラスメントの禁止に関する記述がある。

2 啓発に関すること。

従業員向けにLGBTに関する研修やセミナーを実施している。

3 内部体制に関すること。

従業員がLGBTに関する悩みを打ち明けられる体制がある。

4 福利厚生に関すること。

同性パートナーへの福利厚生等が認められている。

5 配慮に関すること。

LGBTの従業員または顧客に配慮した環境の整備やサービスがある。

6 協力連携に関すること。

社外のイベントに協力またはNPO法人等と連携した取組がある。

7 その他

市長が適当と認めるもの。

■ 評価方法

取組のある指標の項目数により、星の数で評価します。



■ 必要書類

- ・ 申請書（※過去3年以内の取組に限ります）
- ・ 取組に関する説明資料、写真、図面等

■ 留意事項

- ・ 市内の企業または事業所単位で登録が可能です。
- ・ 3年ごとに更新が必要です。

登録企業一覧 (2019年1月時点)

- | | | |
|---------------------|--------------------|---------------------|
| ●井上税務会計事務所 | ●ワーカーズコープ・センター事業団 | ●行政書士サポートグリーンオフィス |
| ●明和工業(株) | ●にじいろ音楽室札幌 | ●社会福祉法人栄和会 |
| ●日本地建グループ(株)NCK南9条店 | ●札幌市社会福祉協議会 | ●日本ユニシス(株)北海道支店 |
| ●(株)北海道新聞社 | ●(株)モルティエ | ●(株)キプラス |
| ●NPOビーチハウス | ●(株)サッポロドラッグストア | ●(株)アパートマンションハウス |
| 女性と子どもの元気の輪 | ●ヒルサイドクラブ迎賓館札幌 | ●(株)リペアサービス |
| ●札幌相談専門助産院あさ | ●高橋花行政書士事務所 | ●NTTクラリティ(株)北海道サービス |
| ●アノテーション(株)札幌オフィス | ●(株)ファーストコネク | 運営部 |
| ●須田布美子法律事務所 | ●(株)トーコーケア | ●ウィズプラス(株) |
| ●丸吉日新堂印刷(株) | ●グローヴエンターテイメント(株) | ●(株)アシスト |
| ●東日本電信電話(株)北海道事業部 | ●(株)エービーアール | ●(一社)ENISHI |
| ●(株)NTT東日本北海道 | ●北海道大野記念病院 | |
| ●第一生命保険(株) | ●NPO法人自立生活センターさっぽろ | |
| ●(株)ホクラミ | ●(株)かんぼ生命保険 | |

以下のホームページで登録企業の詳細について紹介しています。
<http://www.city.sapporo.jp/shimin/danjo/lgbt/sihyo/kigyo.html>



問い合わせ先

札幌市市民文化局男女共同参画室男女共同参画課

〒060-8611 札幌市中央区北1条西2丁目

●TEL:011-211-2962 ●FAX:011-218-5164 ●E-mail:danjo@city.sapporo.jp



- 1 井上税務会計事務所
- 2 第一生命保険株式会社
(北海道営業局、札幌総合支社、道央支社、札幌コンタクトセンター)
- 3 丸吉日新堂印刷株式会社
- 4 株式会社リペアサービス

札幌市LGBTフレンドリー指標制度について

札幌市では、性的マイノリティ(LGBT)に関する企業での取組を促進することを目的として、LGBTフレンドリーな取組や対応を進める企業を一定の指標に基づいて評価、登録するLGBTフレンドリー指標制度を実施しています。登録を受けた企業には、登録証を交付するほか、企業の情報や取組の内容について、HPなどで広報を行っています。



詳細は裏表紙または札幌市公式ホームページをご覧ください

<http://www.city.sapporo.jp/shimin/danjo/lgbt/sihyo.html>



SAPPORO

1

井上税務会計事務所

所在地 〒062-0903 札幌市豊平区豊平3条2丁目1-29 トランスビル
 業種 税務会計代理・財務コンサルティング
 従業員数 18人



全ての企業にLGBTフレンドリー導入を!

井上税務会計事務所では、かねてより職場におけるダイバーシティ(多様性)対応の必要性を、関与させていただいている企業様等に向けた経営情報として提供したいという構想があり、2015年から、その一環として、LGBTフレンドリー活動に取り組むことにいたしました。

外部への発信に先立ち、まずは所内の取組として、ダイバーシティ担当を設置し、それまで法律婚に限定していた就業規則等の婚姻に関する項目を男女間・同性間の内縁関係にまで広げることで、できるだけ対象に制限を設けないように変更しました。さらに、LGBTフレンドリーを内外に向けて宣言するとともに、所内研修を実施するなど、所員の意識を高める取組を行いました。

その上で、外部向けにLGBTフレンドリーをテーマとする無料セミナーを年間3回程度実施し、中小企業をはじめとする職場でのLGBT対応について、ゲスト講師を招きテーマ・視点を変えるなどしながら、開催を重ねてまいりました。

また、企業や団体から職場内研修での講演依頼もあり、既に30回を超える実施をさせていただいております。

労働者の約7割の職場は中小企業です。LGBTフレンドリーは、全ての職場が取り組むべき課題であり、企業にもメリットをもたらしますので、是非一緒に推進しましょう。



2

第一生命保険株式会社

(北海道営業局、札幌総合支社、道央支社、札幌コンタクトセンター)

所在地 【北海道営業局】〒060-0003 札幌市中央区北3条西4丁目1-4 札幌第一生命ビル8階
 【札幌総合支社】〒060-0003 札幌市中央区北3条西1丁目1-11 サンメモリアビル4F
 業種 保険業 従業員数 1,590人

一生涯のパートナー

第一生命



共に尊重し、共に学びあい、共に成長する

第一生命グループでは、人権宣言において基本的な人権の尊重を明確に打ち出しているほか、ダイバーシティ&インクルージョン推進取組の一環としてLGBTにフレンドリーな企業を目指した取組を推進しています。お客さま向けの取組として、所定の書類の提出により、スムーズに同性パートナーを保険金の受取人に指定する手続きができ、企業向け団体保険の受取人には同性パートナーを指定できる体制を整備しています。社員向けの取組として、社員が遵守すべき方針(行動規範等)に「性的指向・性自認」を理由とする差別をしないことを明記し、LGBTへの理解促進のための研修を全社員に向けて実施しています。また、休暇制度や社宅貸与基準について同性パートナーへの適用を拡大するとともに、LGBTに関する相談窓口を設置し個別相談に応じる体制を整備しています。休暇制度や社宅貸与基準について同性パートナーへの適用を拡大するとともに、さらに、LGBT研修やセミナー受講者を対象に、理解・支援を示す「LGBT Ally」シールを配布するなどサポーターの見える化や社外イベントへの積極的参加を行っています。

このような活動が評価され、LGBTに関する取組の企業評価指標「PRIDE指標」で、2016年から3年連続「Gold」を受賞しました。

今後も「共に尊重し、共に学びあい、共に成長する」を基本的な考えとし、LGBTへの理解促進に努め、社員一人ひとりがいきいきと自分らしく働ける社内風土・職場環境を目指します。



3

丸吉日新堂印刷株式会社

所在地 〒062-0936 札幌市豊平区平岸6条12丁目11-2
 業種 エコ名刺通販・印刷・ホームページ制作
 従業員数 7人



多様性を受け入れ、すべての人が輝く社会を作る

元々弊社では、いじめや差別・虐待などが無い社会を作るためには、まずは身近な社員教育からと考え、すべての人に対し尊敬の意を込め、思いやりの気持ちを持ち丁寧に接する事を社内ルールにして参りました。印刷の仕事では、障がいのある皆さんの能力が活かされる点字加工等の仕事を施設等にお願いしており、社内では多様性を受け入れる事が当たり前の風土ができてきておりました。

そんな中、弊社顧問税理士の方より、LGBTについてのセミナーにお誘いいただき参加したところ、世の中には1クラスに1~2名くらいの割合でLGBTの方がおり、悩んでいる方も多くいらっしゃる事を知りました。

それなら私たちが手を上げ、多様性を当たり前のように入れられる社会作りに協力しようという事でLGBTフレンドリー宣言をさせていただき、経営者や職員のLGBTをはじめとしたあらゆる差別的言動の禁止等を定めました。また、ホームページや名刺等でもLGBTフレンドリーを表すマークを掲げています。現在世界を牽引している海外のIT企業等では、多様性が当たり前で、仕事や能力など本質で評価されています。日本も、もっと自由に個性を出して、誰もが思いきり活躍できる社会になればと思います。

人は、容姿や考え方も違うものであり、多様性や個性があるからこそ素晴らしいのです。日本も多様性や個性が活かされる社会が来ます。勇気を持って一緒に前へ進みましょう!



4

株式会社リペアサービス

所在地 〒001-0022 札幌市北区北22条西5丁目1-13 棚田アパート1階
 業種 サービス業
 従業員数 20人



子や孫に残したい社会を造りたい

雇用環境が厳しい中、2017年から障がい者や高齢者の雇用に取り組んでいました。しかし、ある方から働きづらい環境下にあるのは障がい者や高齢者だけではなく、シングルマザー、難病と闘っている方、ホームレス、LGBT等と様々な方が存在していると教えられ、これからはこれらの方を積極的に雇用していくことが肝要と考え、先ずは知るところを始めました。

その過程でLGBTの方々の方の置かれている環境を知る機会も徐々に得ることができ、知る程にその奥に潜む問題の根深さに気づかされました。何よりも根幹に人権に関わるものがあると感じ、LGBTについて知ることは後回しにすべきではないと考え、早速当事者の方に来社頂き全社員にお話をさせて頂きました。その結果、当事者ではない自分たちに直接関わるものではないという距離感の解消と、当事者の方の苦悩の一端を知ることができたのではないかと思います。それが契機なのか「さっぼろレインボープライド」の実行委員として関わろうとする社員も生まれました。

そこで生まれる触れ合いが、「誰も取り残さない社会」創りの小さな礎になってくれればと願っています。

「誰も取り残さない社会」創りには、何よりも違いを認めることが大切だと思います。人と違うことが大切にされる社会は、とても心地の良い社会ではないでしょうか?

